



下宿町
吉田美津子 さん

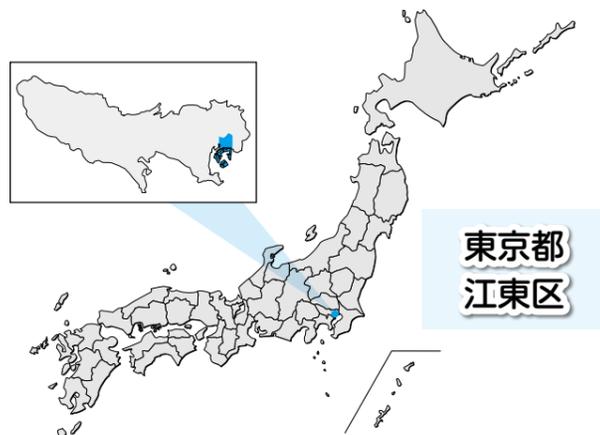
私のふるさと東京都江東区は、東京都の東南端に位置し、東京スカイツリーがある墨田区のすぐ隣で、西に隅田川、東に荒川、南は東京湾に面しています。

下町風情のあるどこか懐かしさを感じることができるエリアや、科学館や博物館、お台場など近未来的な感じがするエリアもあります。また、東京2020オリンピックのボートやカヌーの競技会場になった「海の森水上競技場」があるのも江東区です。

子どもの頃は、近くの砂町銀座商店街での買い物や、毎年の七夕祭りがとても楽しみでした。また、5月の連休頃には亀戸天神社の藤棚が見事に開花し、家族と何度も見に行ったことを覚えています。

主人の仕事の関係で須賀川に移住し、約30年が経ちました。子育て中はママ友とのつながりもでき、市の子育て講座などにも参加していました。現在は仕事や講座などで知り合いも増え、昔の友人と偶然再開する機会もあり、日々楽しく過ごしています。

これからも、市内のいろいろな活動に参加して新たなつながりを作っていきたいです。



東京都
江東区



サークルとわたし



藤蔭流三藤会

代表者 福岡幸子
 会員 7人(大人6人・子ども1人)
 発足年月 昭和62年4月
 連絡先 ☎0248(75)2079
 活動日 水・土曜日(月6回)
 午後1時~4時
 活動場所 tette

私たち「藤蔭流三藤会」は、舞踊など芸術文化の振興と会員同士の親睦を深めることを目的に活動しています。藤蔭篤也師匠のご指導により、古典・民謡・吟詠・歌謡舞踊などを和気あいあいと楽しみながら稽古しています。

新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの休止が続いていますが、三藤会合同発表会や舞踊協会の「秋のおどり」などで舞を披露しています。また、ボランティア活動にも力を入れ、施設慰問を10年以上行ってきました。

日本舞踊の魅力は、姿や美しい立ち振るまいを意識して、曲の流れの中で表現しながら舞うことです。体力作りや健康維持にも効果があります。

会員募集中ですので、興味のある方はぜひ一緒に楽しみましょう。見学も大歓迎、お待ちしております。



tette 情報

tetteでは、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、講座などを行っています。参加する際は、感染防止にご協力をお願いします。なお、感染状況によっては、中止または延期になる可能性があります。詳しくは、tetteホームページでご確認ください。



tetteホームページ



TETTE.SUKAGAWA
tette Instagram

tetteスクールなど

市民交流センター ☎(73)4407

tetteスクールシニア

「縫わない！パッチワークポーチ」

3月22日(水) 午後1時30分~3時30分 ※事前申込

tetteライブラリーシアター「ぼくは王さま ぞうのたまごとにせもの王さま」ほか3作品

3月25日(土) ●午前10時~正午 ●午後1時30分~3時10分

tette動画を配信中

生活に役立つ情報をはじめ、家族で楽しめる工作や体操などの動画をtette公式Instagramで配信しています。ぜひご覧ください。



「気持ちを込めて贈り物 おしゃれにラッピング」3月7日(火)配信

こどもセンターだより

こどもセンター ☎(76)6687

子育て相談会

3月13日(月) 午前10時30分~11時30分

※事前申込(先着2組)

子育て支援講座「助産師相談会」

3月16日(木) 午前10時~11時 ※事前申込(先着6組)

親子イベント「ひも通しさくら飾りをつくろう」

3月17日(金)~19日(日)に制作セットを配布

※事前申込(先着15組)

子育て支援講座「ママのおしゃべり会」

4月13日(木) 午前10時~11時 ※事前申込(先着6組)

図書館だより

中央図書館 ☎(75)3309

こども読み聞かせ会(読み聞かせの会ポケット)

3月11日(土)・25日(土) 午後2時

※自由参加(定員20人)

おひざにだっこのおはなし広場(おはなしの会ラ・ポム)

3月15日(水) 午前11時 ※自由参加(定員30人)

ふるさとの遺産

No.343

—学校の今昔—

阿武隈小学校 その1
(昭和46年)



開校前に撮影された校庭整備中の阿武隈小学校

博物館
☎(75)3239

写真は開校する1年前に撮影された校舎完成時のもので、校庭などはまだ整備されていません。周囲には住宅などがなく、今の阿武隈小学校とは異なる風景です。当初は写真にある校舎のみでしたが、児童数の増加に対応するため昭和55年と平成7年に校舎を増築しました。

阿武隈小学校は、昭和47年に江持小学校、第二小学校と第三小学校の一部を学区として、古館地区に誕生しました。学校名は、近くを流れる阿武隈川に由来し、学校の敷地は中世の館跡(地形を利用して堀などを設けた小さな砦や古墳があったところで、今も古墳が一部残されています。開校当時の児童数は200人でしたが、周辺に住宅ができるなど市街地化が進み、昭和60年には児童数が592人まで増加しました。

事前申込や有料のイベントもありますので、詳しくはtetteにお問い合わせください。